

令和6年度 第2回住吉区防災専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和6年10月2日（水）午後6時30分から午後8時25分
- 2 場 所 住吉区役所1階 第1会議室
- 3 出席者
 （委 員） 生田委員長、井西委員、小林委員、篠原委員、畑委員、堀委員、松岡委員
 （区役所他） 区長、副区長、地域課長、地域課長代理、地域課担当係長、住吉消防署地域担当司令
- 4 報告事項
 - (1) 令和6年度第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - (2) 事前意見に対する対応方針
 - (3) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）にかかる対応について
 - (4) 台風10号にかかる対応について
 - (5) 令和6年度防災情報紙全戸配布について
 - (6) 第11回住吉区防災イベントについて
- 5 議題事項
 - (1) 令和6年度住吉区総合防災訓練の実施概要について
 - (2) 令和7年度防災の主な取組について
 - (3) 大和川氾濫等の水害に備えた防災力強化アクションプラン（第3期）（案）について
- 6 議事要旨
 - 報告
 - (1) 令和6年度第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - ・ 住吉区総合防災訓練で配布しているアンケートの質問項目を変更してはどうかという意見について、アンケートに来年度の訓練内容の希望等の項目を追加し、今年度から一時避難場所においても配布する旨を説明した。
 - ・ 災害時協力事業所の募集チラシについて、募集内容を記載してはどうかという意見について、協力いただきたい内容を記載の上、修正した旨を説明した。
 - ・ 排便処理セットの追加配備の予定はあるのかという意見について、今年度は84,000回分の追加配備を予定している旨を説明した。
 - ・ 避難者の自助・共助の意識を高めるような広報が必要ではないかという意見について、広報紙やホームページでの掲載に加え、チラシの全戸配布等を実施しており、今年度は非常持ち出し品のチェックリストを配布する旨を説明した。
 - (2) 事前意見に対する対応方針
 - ・ 事前資料の電子データでの受け取りは可能かという意見について、電子データの送付を希望される場合は、住吉区役所地域課宛てご連絡いただきたい旨を説明した。
 - ・ 会議の開催時間を早められないかという意見について、要望があれば開催時間の変更は可能である旨説明した。
 - ▶ 開催時間の希望アンケートをとってはどうかという意見があった。

(3) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）にかかる対応について

・ 8月8日（木）から発表された、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）にかかる対応経過について説明した。

▶ 清水丘地域等の好事例について、備蓄物資の準備や一時避難場所と災害時避難所について再確認するようチラシを配布した旨説明があった。

(4) 台風10号にかかる対応について

・ 8月22日（木）に発生した台風10号にかかる対応経過について説明した。

(5) 令和6年度防災情報紙全戸配布について

・ 今年度全戸配布予定の啓発資料について、掲載内容を説明した。

▶ 非常持ち出し品の優先度を決めるなど、防災に関心がない人にも見てもらえるような工夫が必要ではないかという意見があった。

▶ 配布にあわせて、災害用伝言ダイヤルの使用訓練の場を設けて欲しいという意見があった。

(6) 第11回住吉区防災イベントについて

・ 11月30日実施の第11回住吉区防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい おたがいさまの防災」について、社会福祉協議会より説明があった。

▶ 住吉区総合防災訓練と同日の開催にしてはどうかという意見があった。

■ 議題

(1) 令和6年住吉区総合防災訓練の実施概要について

・ 11月9日に実施する令和6年度住吉区総合防災訓練について、概要や総合防災訓練に向けて各地域で実施した模擬訓練等の実施内容を説明した。

▶ 各地域、施設での総合防災訓練実施内容について共有した。

地域：町会役員や防災リーダーが中心となり、町会本部・地域災害対策本部を開設・運営し、一般避難者を受付・誘導する。

施設：iisumi入力・無線通信訓練のほか、住吉総合福祉センター・浅香障がい者会館における福祉避難所開設訓練や、我孫子南中学校から浅香障がい者会館への搬送訓練を実施する。

▶ 外国人の訓練参加は受入可能かという意見に対して、タブレット端末での翻訳アプリやコミュニケーションボード等を用いた山之内地域での受入訓練事例や、日本語学校等に災害時協力事業所になっていただくよう要請する等、受入体制を整えていく旨説明した。

・ 社会福祉協議会より、災害ボランティアセンターでの訓練の実施概要について説明があった。

(2) 令和7年度防災の主な取組について

・ 令和7年度防災の主な取組（案）について、備蓄物資の配備や防災力向上に向けた研修会等の実施等、7項目について説明した。

▶ 熱中症対策物資として、塩飴や粉末状のスポーツドリンク等の配備は可能かという意見に対して、賞味期限の定めがあるものの備蓄は入替等もあり困難であるため、非常持ち出し品に入れていただくよう広報に努めると説明した。

(3) 大和川氾濫等の水害に備えた防災力強化アクションプラン（第3期）（案）について

・ 趣旨や取組目標、第2期及びそれ以前の取組内容、第3期における取組内容を説明した。

▶ 浸水ナビを活用すれば大和川の氾濫時にどのように水が来るのか確認できるため、ぜひ活用してほしいという意見があった。

▶ 倉敷市真備町など、河川氾濫による被災者の経験談を聞くのも防災意識向上に繋がるため、講話等の場を設けてはどうかという意見があった。